

オランダの歩みと諸問題

220781062 山本美桜

目次

はじめに

第1章 オランダの誕生

第1節 オランダの概要

第2節 オランダ王国の成立と発展

第3節 第二次世界大戦とオランダ

目次

第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

第1節 経済成長と社会改革

第2節 インドネシア独立への対応

第3節 オランダ領アンティル

目次

第3章 オランダの発展

第1節 ECとオランダ

第2節 EU統合とオランダ

第3節 EU統合後のオランダ

目次

第4章 オランダの課題

第1節 移民政策

第2節 エネルギー自給率の低さ

第3節 社会保障制度

第5章 今後の展望

はじめに

I. 極右政党の存在

A) ロシアのウクライナ侵攻を皮切りに
極右政党の支持率UP

B) EU全体が自国第一主義に

C) 2023年の下院選で躍進

2. 連立政権が崩壊、統治能力

はじめに

- I. 2025年～ 中道左派が連立政権を主導
 - A) 移民難民の流入に制約を設置
 - B) 中・低所得者に高関心な住宅問題を重視
⇒ 支持率UP

第1章 オランダの誕生

第1節 オランダの概要

I. 概要

- A) 面積 41,864km²
⇒ 九州地方とほぼ同じ
- B) 人口 約1,776万人
- C) 首都 アムステルダム
- D) 言語 オランダ語



第1章 オランダの誕生

第1節 オランダの概要

I. 特徴

- A) 運河 商業と交通の中心
⇒ 2010年 ユネスコ世界遺産
- B) 気候 西岸海洋性気候
- C) 農産物 花き、じゃがいも



第1章 オランダの誕生

第2節 オランダ王国の成立と発展

I. 1568年 八十年戦争

A) きっかけ

- a. スペインの圧政に反発

B) 特徴

- a. 宗教的対立⇒ベネルクス（オランダ、ルクセンブルク、ベルギー）の二分化

- b. 海外進出⇒貿易拠点の確保

⇒ 1609年 事実上独立

第1章 オランダの誕生

第2節 オランダ王国の成立と発展

I. 1618年 三十年戦争

- A) きっかけ
 - a. プロテスタント勢力の支援
- B) 特徴
 - a. 1648年 ウェストファリア条約
 - ⇒ 独立を国際的に承認
 - b. オランダの対スペイン戦略
 - ⇒ スペインは独立の阻止に失敗

第1章 オランダの誕生

第3節 第二次世界大戦とオランダ

I. 1914年 第一次世界大戦

- A) オランダは中立の立場を維持
- B) 戦争の影響
 - a. 海上貿易の縮小
 - b. 経済活動の縮小⇒貿易と工業は衰退
 - c. 工業の近代化

第1章 オランダの誕生

第3節 第二次世界大戦とオランダ

I. 1939年 第二次世界大戦

- A) 中立の立場を表明
- B) 1940年5月10日 オランダ侵攻
 - a. ユダヤ人の受容
⇒ ユダヤ人狩り 約600万人の犠牲
 - b. 飢餓の冬 ⇒ 約2万人の犠牲
- C) 1945年 全オランダの解放

第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

第1節 経済成長と社会改革

I. 工業生産の回復

- A) アメリカからの資金援助（マーシャル・プラン）
- B) 1950年頃には戦前の生産水準まで回復

2. 資本主義の再建

- A) 労使の協調や政府による厳しい統制

第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

第1節 経済成長と社会改革

I. 國際連合の発足

- A) オランダは原加盟国の1つ
- B) 国際司法裁判所
 - a. ハーグに所在
 - b. 国家間の法律的紛争の裁判
- C) 1947年 東西冷戦
 - a. 西軍陣営アメリカ 対 東軍陣営ソ連
 - b. オランダは西軍陣営

第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

第2節 インドネシア独立への対応

I. インドネシア共和国

- A) スカルノとハッタが独立を宣言
⇒ オランダは認めず
- B) 1946年 ジャワ島を制圧



第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

第2節 インドネシア独立への対応

I. インドネシア共和国

A) 1946年 リンガルジャティ協定

- a. ジャワ島とスマトラ島
⇒ インドネシア共和国領
- b. それ以外の自治国
⇒ オランダ領



第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

第2節 インドネシア独立への対応

I. 1947年 インドネシア独立戦争

- A) 首都ジャカルタの包囲
⇒ 共和国勢力の弱体化が目的
- B) 1949年 ハーグ円卓会議
 - a. インドネシア連邦共和国の成立
⇒ **单一国家インドネシア共和国の誕生**

第2章 第二次世界大戦直後のオランダ 第3節 オランダ領アンティル

I. オランダ領アンティル諸島

- A) カリブ海域の6島
- a. アルバ、ボネール、キュラソー、シント・マールテン、シント・ユースタティウス、サバ

B) 人口23万人



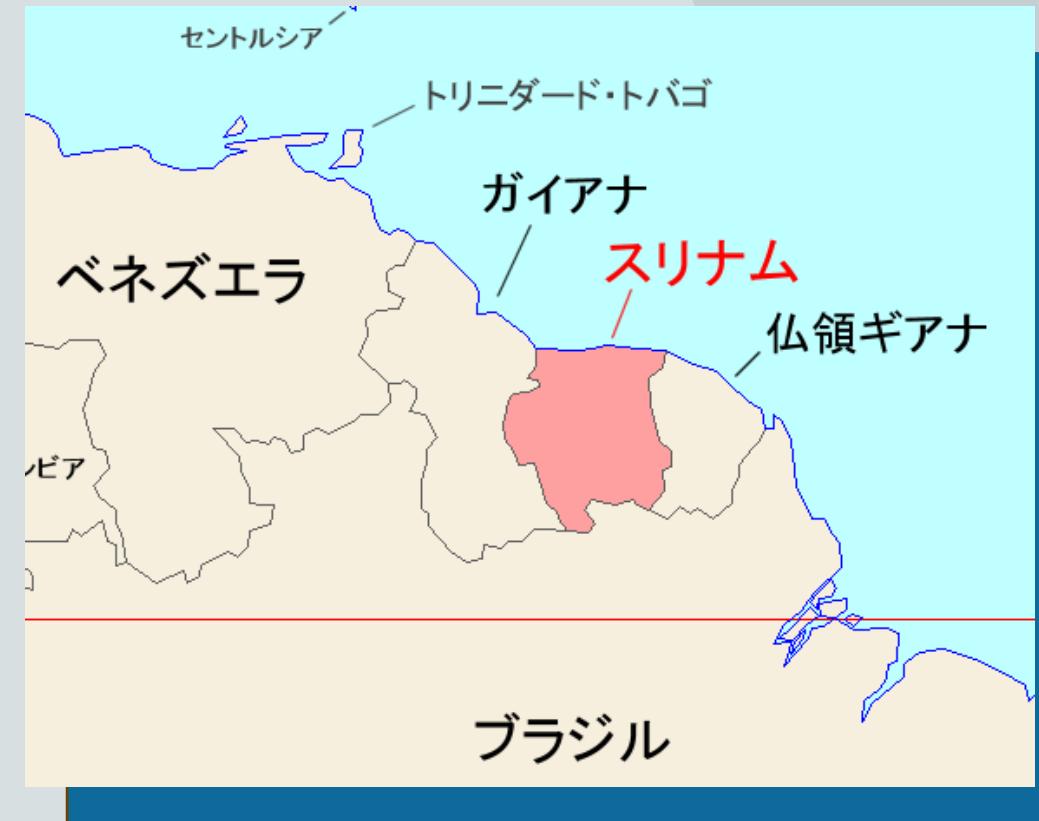
第2章 第二次世界大戦直後のオランダ 第3節 オランダ領アンティル

I. オランダ領ギアナ

A) 南米ギアナ

a. オランダの4.5倍の面積
と鉱石

B) 人口35万人



第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

第3節 オランダ領アンティル

I. 1948年 植民地規定を改定

A) アンティル諸島

⇒ 内政自治権を獲得

B) ギアナ

⇒ 自治権獲得

1975年にスリナム共和国
として独立



第3章 オランダの発展

第1節 ECとオランダ

I. 1967年 ECの発足

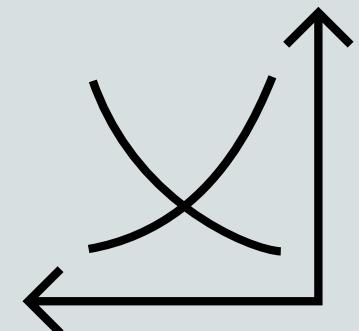
- A) ECSC（欧洲石炭鉄鋼共同体）
 - + EEC（ヨーロッパ経済共同体）
 - + Euratom（ヨーロッパ原子力共同体）
- B) アムステルダムを中心とした自由貿易圏の形成に貢献



第3章 オランダの発展

第1節 ECとオランダ

- I. ECでのオランダの立場
 - A) 原加盟国の1つ
 - B) 欧州の貿易拠点として欧洲統合を推進
 - C) アメリカ経済に対抗



第3章 オランダの発展

第2節 EU統合とオランダ

I. 1993年 EUの発足

A) マーストリヒト条約に合意

- a. 共通の外交・安全保障政策を施行
- b. 欧州議会の権限を強化
- c. ECの発展的解消が目的

B) オランダは、単一市場の形成と欧洲全域の自由貿易圏の形成を支持

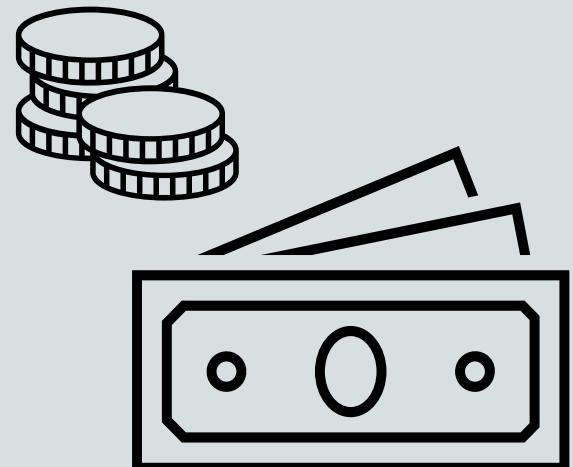
C) 通貨統合による貿易の効率化を支持

第3章 オランダの発展

第2節 EU統合とオランダ

I. オランダの役割

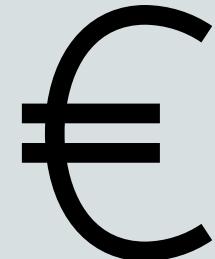
- A) 経済面の支援
- B) アムステルダム条約締結時の場所の提供
- C) 市場拡大の観点からEU拡大を支持



第3章 オランダの発展

第3節 EU統合後のオランダ

- I. 2007年には加盟国が27カ国に拡大
 - A) 意思決定の過程が複雑化
- 2. 2000年 ニース条約
 - A) マーストリヒト条約の強化・改正が目的
 - B) 通貨導入基準の引き下げ
- 3. 単一通貨ユーロの導入
 - A) 貿易の効率化に成功



第3章 オランダの発展

第3節 EU統合後のオランダ

I. オランダの役割

- A) 単一通貨の導入に貢献
- B) 貿易の効率化を重視
- C) 欧州全体の貿易の要 → 大きな存在感

第4章 オランダの課題

第1節 移民政策

I. 寛容の国ならではの政策

- A) 人口の約半分が**外国系市民**（移民1世・2世）
- B) 移民の文化的アイデンティティの保持
⇒自己イメージの向上、社会統合の推進

2. 課題

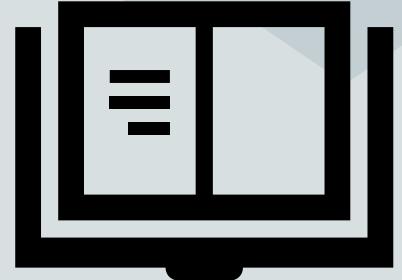
- A) 外国系市民の失業者、中途退学者数
- B) オランダ社会への統合率

第4章 オランダの課題

第1節 移民政策

I. 課題

- A) 移民の統合の煩雑化
- B) 社会的・精神的分断や孤立の防止
⇒移民の流入にブレーキ



2. 政策改定

- A) 2006年 外国における市民化法
 - a. オランダ語・オランダ社会の試験を導入
- B) 2007年 市民化法
 - a. 居住には市民化試験での合格が必須

第4章 オランダの課題

第2節 エネルギー自給率の低さ

1. エネルギー使用量の68.9%を輸入に依存（2024年時点）
2. 欧州最大の天然ガス田 フローニンゲンガス田
 - A) 国内需要の大半を供給
 - B) 群発地震の発生⇒段階的な閉鎖を決定
3. 課題
 - A) 再生可能エネルギーの供給量
 - B) 天然ガスの輸入依存からの脱却
 - A) エネルギーインフラの整備

第4章 オランダの課題

第2節 エネルギー自給率の低さ

I. 洋上風力の導入

A) オランダの立地を活用

a. 実施基盤の未整備 ⇒ 市場環境の悪化

2. 水素戦略

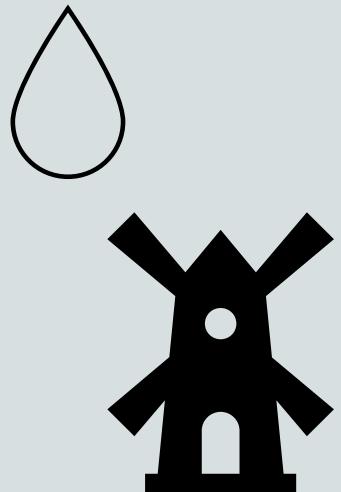
A) 洋上でのグリーン水素の生産

B) コスト面やインフラ面の課題

3. 今後の政策

A) 既存のガスパイプラインの活用

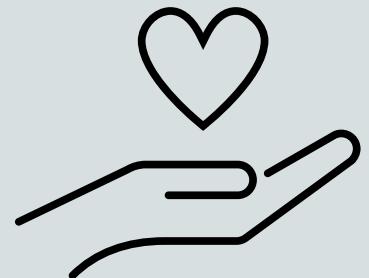
a. コスト削減、大容量輸送の実現



第4章 オランダの課題

第3節 社会保障制度

- I. 前進的な社会保障制度
 - A) 多くの制度を公費で負担
2. 課題
 - A) 高齢化による医療・介護需要の増加
 - B) 継続的な制度改革



第4章 オランダの課題

第3節 社会保障制度

I. 競争原理の導入

A) 効率的な事業経営・医療サービスの提供

→ 公平性を保持しながら保険者間の競争を促進

B) 保険内容の複雑化や自己負担額の増加への対応

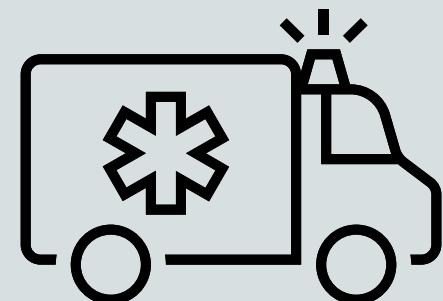
2. 複合的施策

A) 予防医療や地域ケアの強化

a. 医療費抑制、国民の生活の質向上

B) 医療情報の共有や遠隔医療の推進

a. 医療サービス提供の効率化



第5章 今後の展望

I. 移民・難民政策

A) ロシアのウクライナ侵攻により流入数増加

B) 移民の排除か統合か

2. 移民の排除

A) 治安の悪化、住宅の不足を懸念

3. 移民の統合

A) 選択的移民政策の導入による多文化共生の実現

第5章 今後の展望

I. 移民の受け入れに賛成

- A) 入国に条件を設置
⇒ オランダ統合の第一歩

- B) 移民の割合

- a. 全体の半分近く
⇒ 少数派ではない

- C) 移民がオランダの問題解決において強力な力を保持

